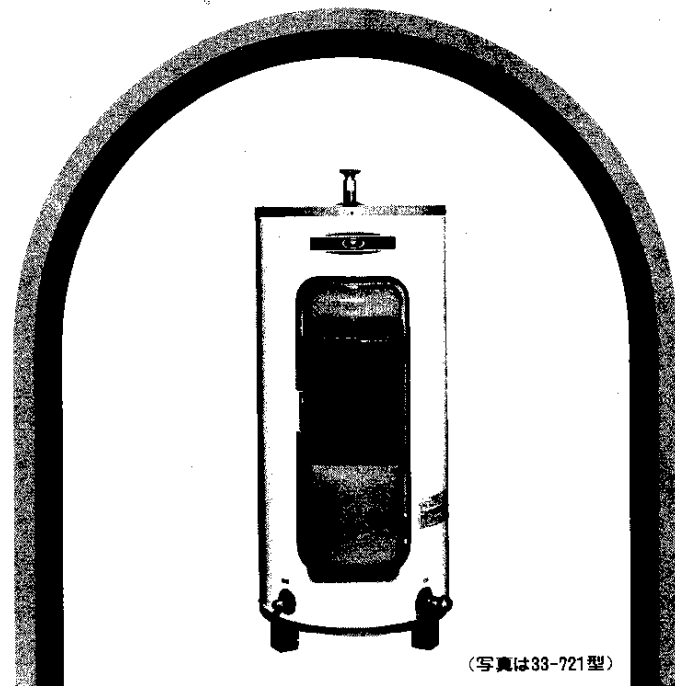
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器《貯湯式》をお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

ガス湯沸器（貯湯式）
取扱説明書　33-714・721型

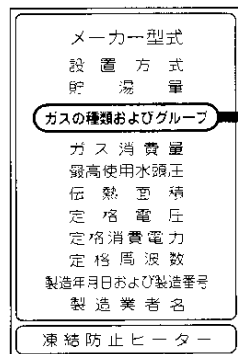
保証書付

型式名KSN-16TO　KSU-16TO

（写真は33-721型）

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● **ガスの種類を確かめてください。**
ガス器具本体の右側下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください

● ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

● **ガス器具本体の右側下部にはってある銘板(ラベル)に表示の電源(電圧・周波数)以外では使用しないでください。**
● **操作パネル部の周波数切換部がお宅に供給されている周波数と一致しているかをまず確かめてください。**

排気トップカバー
(排気筒を延長しない場合に使用します)
排気筒
(強制排気の場合)
排気トップエルボ
(屋外)
給湯口
外胴
カバー
ランプラベル
操作カバー
操作ドア
操作パネル
排水口
排水せん
給水口

特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

●カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。

●家具その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

●丈夫で水平な床面に設置してください。

●冷暖房器の近くへ設置しないでください。

●雨だれが直接器具に落ちるところへの設置はさけてください。

●特殊薬品を取扱う場所（例えば理・美容室）では器具及び排気筒を腐食しますので設置しないでください。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

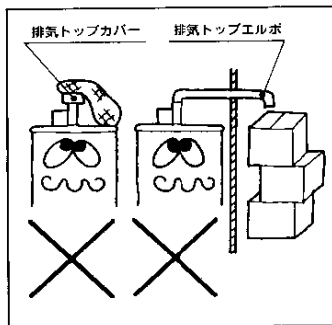
●長時間器具をご使用にならないときは、万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。

特に注意していただきたいこと③　使用上のご注意

火災予防

●排気トップカバーの周囲に障害物を置かないでください。

●屋外の排気トップエルボをふさがないようにしてください。

●器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。

やけどのご注意

●湯温スイッチが「高」で約80℃、「低」で約60℃のお湯がでますのでやけどに注意してください。

換気のご注意

●ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍の空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
設置場所の給気口・換気口は常に確保し、物などでふさがないでください。

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときや器具使用中、変な臭いがしたときはすぐ使用をやめて運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じて窓や戸を全部あけ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。

飲用にされる場合

●朝一番など、長時間お湯の使用を停止した後にお使いの場合は、洗面器一杯程度（給湯配管中のたまり水）は雑用水としてお使いください。その後は飲用又は調理にお使いいただけます。

器具の設置

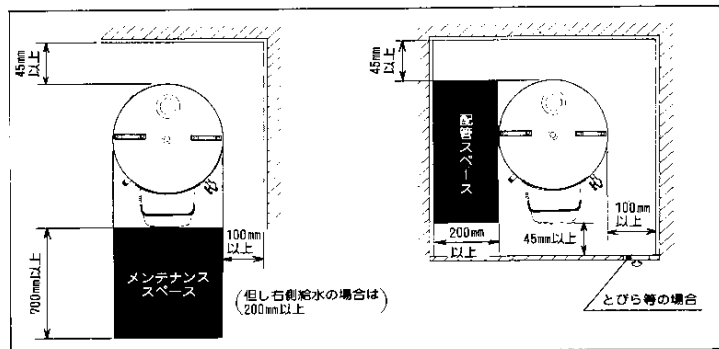
設置前の準備と確認

- 器具の設置は専門の工事店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
- 正しく設置されているか確認してください。（詳しくは工事説明書をお読みください。）

設置上のご注意

- **器具は前後、左右に傾かないようにしてください。**
- **丈夫で水平な床面に設置してください。（満水時の重量は約 234kgになります。）**

《屋内設置の場合ー33-714型》

- 火災予防上またはアフターサービス上、建築構造物から器体面までは45mm以上離し、配管スペースは給水側 200mm以上、排水側は 100mm以上とってください。但し、前面は操作及び修理の都合上700mm以上とれるようにしておいてください。（とびら等で前面を閉じた時は45mm以上、但しこの場合はとびらの開閉が容易にできるようにしてください。）

凍結についてのご注意

- **冬の厳寒期には器具内や給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするなど、凍結防止をしてください。**

〔詳しくは22ページをお読みください〕

異常時の処置

- **ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（運転スイッチを〝切〟、ガス元せんを閉止）して十分な点検をお願いします。**

〔故障・異常の見分け方と処置方法については21ページをお読みください〕

停電があった場合のご注意

- **再通電すれば自動的に運転しますが、〝停電した時間〟だけプロコンタイマーが遅れていますので、現在時刻に合わせてください。**

日常の点検・手入れ

- **器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。（詳しくは17ページをお読みください。）**
- **故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。**
- **万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。**

貯湯槽の防食について

- **電源により貯湯槽が腐食するのを防いでいますので、ご使用期間中は電源コードのプラグをコンセントより外さないでください。**

使用手順

操作パネル部の各部の働き

湯温スイッチ

「高」…約80℃に沸上げます。
「低」…約60℃に沸上げます。

運転スイッチ

「入」…運転(燃焼)可能な状態になります。
「切」…運転を中止します。(燃焼中でも任意に消火することができます。)

プログラム制御スイッチ

▶ ON ―「能力小」の運転状態 ―「能力大」の運転状態

▶印に「ON」がきたら「能力大」または「能力小」の運転となります。
「能力大」と「能力小」ともに「ON」になると「能力大」で運転します。
▶印にOFFがきますと運転を中止します。

プロコン切替スイッチ

- プロコン運転
  設定されたプログラムに従って「能力大」または「能力小」などの運転をします。
- 連続運転
  設定されたプログラムに関係なく「能力大」で運転します。
- 能力大
  貯湯槽全体(約160ℓ)を湯温スイッチに従って沸上げます。風呂などの給湯に使用してください。
- 能力小
  貯湯槽の上部(約50ℓ)を湯温スイッチに従って沸上げます。台所・シャワーなどの給湯に使用してください。

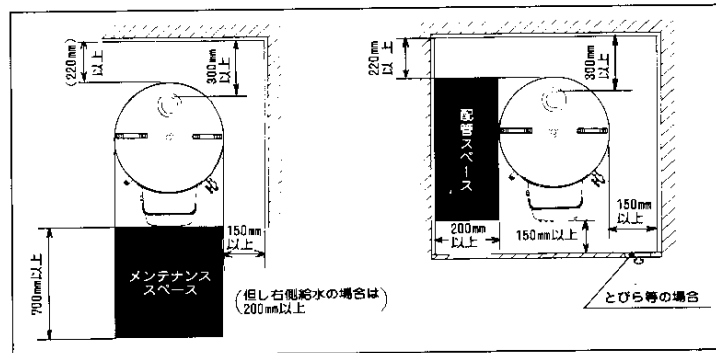
周波数切換

供給されている電気の周波数と合わないと遅くなったり早くなったりします。(お宅の周波数に合わせてください。)

(プログラム)ダイヤル

- プロコン運転のプログラムを設定することができます。
- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動する24時間タイマーです。
- セット子(同色のセット子は必ず偶数個取付けます。)
  橙色…能力「大」運転のON、OFFを行います。
  白色…能力「小」運転のON、OFFを行います。

《屋外設置の場合ー33-721型》

●火災予防上またはアフターサービス上、建築構造物から器体面までは 150mm以上(背面は220mm以上)、離し、配管スペースは給水側 200mm以上、排水側は150mm以上とってください。但し、前面は操作及び修理の都合上 700mm以上とれるようにしておいてください。(とびら等で前面を閉じた時は150mm以上、但しこの場合はとびらの開閉が容易にできるようにしてください。)

ガスの接続

●この器具は必ず金属配管にて接続してください。

●配管工事は大阪ガス指定業者にて施工してください

使用手順③

・ダイヤルを矢印の方向に回して、指針に現在時刻を合わせてください。器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込みますと、タイマーは運転状態になります。

・プロコン切替スイッチを「プロコン運転」にしてください。

点火

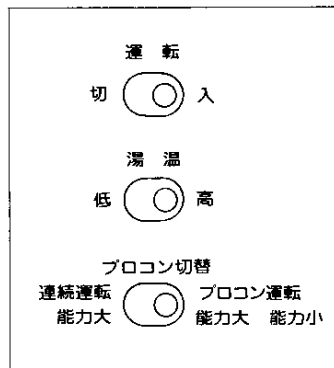
運転

切 入

湯温

低 高

プロコン切替

連続運転 能力大 ◯ プロコン運転 能力大 能力小

・運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプが点灯します。

・プロコン「能力大」または「能力小」が〝ＯＮ〟の状態になり、そのときの貯湯槽内の湯温が「低」(約60℃)、「高」(約80℃)の設定温度より低ければ点火動作に入り、約30秒後に燃焼ランプ(緑)が点灯します。

・もしリセットランプ(赤)が点灯したときは運転スイッチを「切」にし、ガス元せんが開いていることを確認のうえ、約３分間待って再度「入」にしてください。再点火します。

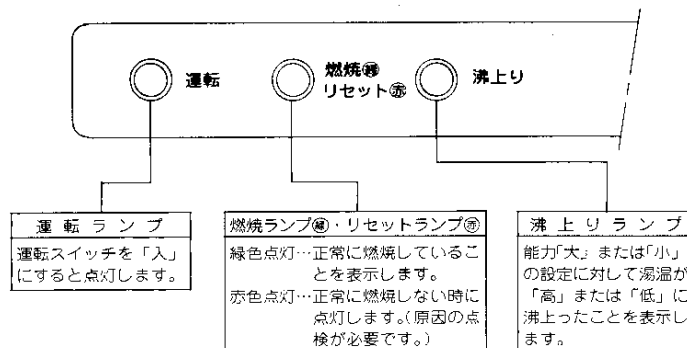
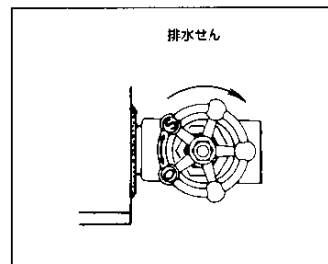
湯温調節

・冬期お湯をお使いになるときは湯温スイッチを「高」(約80℃)、その他の季節では「低」(約60℃)にしてください。春秋にお使いのときでも、お湯がぬるいと感じられる場合は「高」にしてください。

〈ご注意〉

・運転スイッチ、湯温スイッチ、プロコン切替スイッチ、プロコン設定時等の操作後は必ず操作ドアーを確実に閉じてください。

使用手順②

ランプパネル部の各部の働き

点火前の準備と確認

・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。

・操作ドアーを開けてください。

・運転スイッチが「切」になっていることを確認してください。

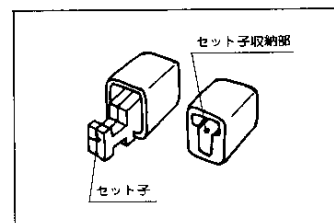
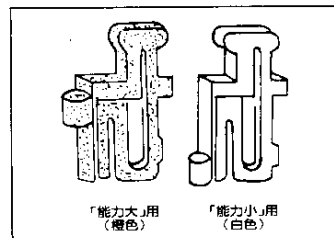
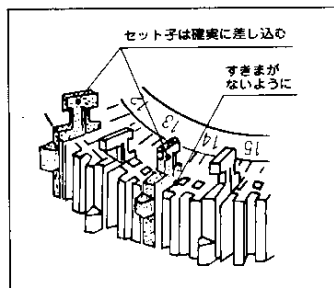
・排水せんを閉方向(〝Ｓ〟の方向)に回してください。

・給水元せん及びガス元せんを開いてください。

・貯湯槽内に水が入っていることを確認してください。(給湯せんを開いて、水が勢いよく流れますと満水になっています。)

・器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

・プロコンで「能力大」「能力小」の「ＯＮ」、「ＯＦＦ」の時間設定をしてください。一日の時間設定は「タイマーの設定方法」、「プロコン運転例」の項(13、14ページ)を参照してください。

タイマーの設定方法

①セット子をお望みの時刻のピン穴に差し込んでください。

- ただし、指針に現在時刻を合わせたとき、現在時刻の15分以内のピン穴にはセットできませんので、無理に差し込まないでダイヤルを少し矢印の方向に回わしてからセット子を差し込んでください。
- セット子は能力大用（橙色）,能力小用（白色）の区別がありますので、セットされる場合はよく確認のうえダイヤルに確実に差し込んでください。
- 付属のセット子で2組の〝ON〝OFF〟の時間設定ができます。
- 「能力大」「能力小」の〝ON〟の設定時間が重なったときは、「能力大」運転となります。

〈ご注意〉

- 同色セット子(橙色一橙色,白色一白色）で30分以下のセットはしないでください。
- セット子を奇数個セットされますと一周後接点動作が逆転します。必ず偶数個セットしてください。

②使用しない余分のセット子は、操作ドア一裏面のセット子収納部（1セット分）に差し込んでおいてください。またセット子を2組以上使用される場合は、セット子だけ別にご注文ください。

プロコンおよびプロコン切替スイッチの調整

- 湯量が余裕気味あるいは不足気味の時は、プロコンの〝ON〟〝OFF〟設定時間を調整してください。
- 来客等による湯量の増加が予想される場合、および通常の時間設定以外にお湯を使用したい時（例えば朝風呂）は、プロコン切替スイッチを「連続運転」またはプロコンの〝ON〟〝OFF〟設定時間を調整してください。
- 連続して使用されたい場合、または能力が不足気味の時はプロコン切替スイッチを「連続運転」にしてください。
- 設定温度が「高」または「低」になれば自動的に消火して、沸上がりランプ（赤色）が点灯します。ランプは「能力大」「能力小」設定時の沸上がりを示します。

出湯

- 給湯せんを開くとお湯がでます。はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは配管内のお湯が冷えているため、しばらくぬるいお湯がでてきますが、だんだん熱くなりますので注意してください。

消火

- プロコン「能力大」と「能力小」が〝OFF〟の状態になると消火します。
- プロコンが〝ON〟の状態でも貯湯槽内の湯温が設定温度になれば自動的に消火します。
- 燃焼中に消火されるときは運転スイッチを「切」にしてください。

断水の場合

- 通水が始まるまで運転スイッチを「切」にしておいてください。

上手な[illegible]の使い方

●プロコン運転「能力大」

・一般家庭では風呂に落とし込みの際にもっとも多量にお湯が必要となります。この湯沸器は1.5人用浴槽（約240ℓ）～2人用浴槽（約290ℓ）を使って入浴される家庭用に設計されたものです。(ただし、同時に台所などでお湯を使われた場合は不足することがあります。)

・2人用浴槽や1.5人用浴槽でも、来客があった時などでお湯の張りかえなどされる場合は、お湯が不足することがあります。その時には出湯を止め、貯湯槽のお湯が沸き上がる迄お待ちください。もし貯湯槽内のお湯が全部水になっている場合、沸き上がり迄の時間は次の通りです。(但し、ガス種などの条件により異なる場合があります。)

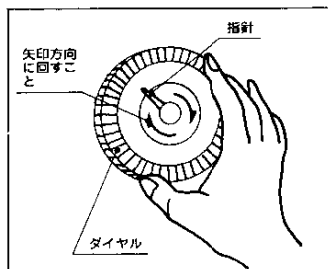
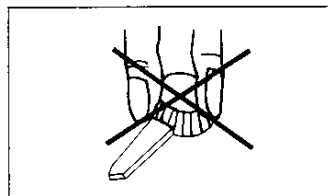
季節	水温(℃)	湯温スイッチ「高」(約80℃)	湯温スイッチ「低」(約60℃)
冬	5	約 2 時 間 05 分	約 1 時 間 30 分
夏	25	約 1 時 間 30 分	約 1 時 間 05 分

《風呂への落とし込みの場合のプロコン設定の方法》

①沸き上がり時間が上記の表のようにかかりますので、冬期では2時間前、夏期では1時間半前ぐらいにプロコン設定を「能力大」•〝ON〟になる様にセット子をセットしてください。

②プロコン運転の場合は上記時間にプロコンを〝ON〟に設定しておくとつけ忘れによる湯切れの心配がありません。

●プロコン運転「能力小」

・冬（水温5℃）でも約40分で上部（約50ℓ）が約80℃に沸き上がります。

③セット子の取りつけが終りましたら、ダイヤルを矢印方向に1回転させ、セット子でセットした時刻にプログラム制御スイッチの表示板の表示〝ON〟〝OFF〟が、プロコン運転状態▶印にくるか確認してください。(スムーズにプログラム制御スイッチが回転しない時はセット子の差し込み不足です。)

④ダイヤルを矢印方向に回わして指針に現在時刻を合わせてください。

（ご注意）
・指針を手で回わすことは絶対にしないでください。
・このプロコンはモーター式ですので、停電があった場合は停電時間だけ遅れますから通電後時刻修正をしてください。

プロコンの運転例

・「能力小」6:00～22:00、「能力大」15:00～19:00にプロコン運転をする場合のプログラムダイヤルの設定方法。

お湯の使用モデル		運転パターン
6時	使い始め	「能力小」
15時		「能力大」
19時	風呂落込み	
22時	使い終り	

使用時のご注意

●**操作時以外は操作ドアーを確実に閉じておいてください。**

●**雨が降っている時に操作される場合は、操作ドアー内に雨がはいらないように注意してください。**

安全装置が作動した時の処置方法

●**バーナー安全装置（フレームロッド）**

・バーナーに着火しなかったとき、またバーナーの炎が消えたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まり、リセットランプ（赤）が点灯します。その場合運転スイッチを「切」にし、①ガス元せんが開いていること。②排気トップカバー付近に障害物がないことをご確認のうえ、約3分間待ってから再度「入」にしてください。再点火します。

●**過熱防止装置（ハイリミット）**

・ご使用中に温調回路に異常が起き、湯温が異常に上昇しますとハイリミットが作動して電気、ガス通路をしゃ断し、運転ランプは消灯します。この場合、運転スイッチの「入」「切」を繰返しても運転ランプは点灯しません。ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にしてお近くの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

●**圧力感知安全装置（風圧スイッチ）**

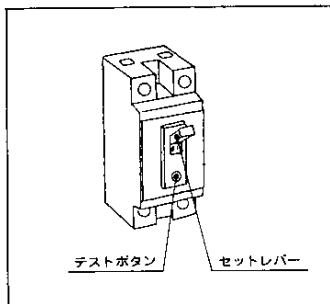
・燃焼補助ファンが回わらない場合、点火器および電磁弁が働くのを防ぐ安全装置です。この場合運転ランプは点灯していますが、給湯せんを全開にし数分間湯を流しても燃焼ランプは点灯しません。ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にしてお近くの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

●**電源ヒューズ**

・ご使用中なんらかの原因で過電流が流れ、電源ヒューズが切れたときは運転ランプは点灯しません。この場合、運転スイッチの「入」「切」を繰返しても運転ランプは点灯しません。ガス元せんを閉め、運転スイッチを「切」にしてお近くの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

使用時のご注意②

●**漏電遮断器（33-721型の場合）**

・この漏電遮断器は万一漏電があった時、安全に湯沸器の運転を停止させ、セットレバーが「ＯＦＦ」になって異常をお知らせします。ご使用中になんらかの原因でセットレバーが「ＯＦＦ」した時は、一度漏電遮断器のセットレバーを引き上げてください。手をはなして〝ＯＮ〟にならない場合は、お近くの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

●**点検・手入れについては、日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。**

●**点検で依頼を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。**

●**点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。**

点　検

●**安全にお使いいただくためにときどき点検してください。**

・排気トップカバーの周囲に障害物がありませんか。

・操作ドアーは確実に閉じてありますか。

・リセットランプ（赤色）が点灯していませんか。

● **漏電遮断器の点検（33-721型の場合）**

- 漏電遮断器は月に一度テストボタンを押して動作を確認してください。
- 漏電遮断器窓の取り外し方は、化粧ねじ2本を外しますと漏電遮断器窓が外れます。

①テストボタンを押し、セットレバーが〝OFF〟になれば正常です。

②動作確認後、セットレバーを引き上げてください。

③手をはなしてセットレバーが〝ON〟にならない時は、漏電遮断器が作動不良を起していると考えられますので、お近くの大阪ガスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。

〈ご注意〉

- 湯沸器使用中には点検テストを行なわないでください。
- 万一使用中にあやまって点検テストされた場合は、運転スイッチを切り、約3分まってからの通常の点火操作を行なってください。

お手入れ

ときどき

● **器具の外胴**

- 汚れが目立ってきましたら湿った布でふきとってください。なおとれにくいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れを落とし、お手入れ後はかわいた布で水気をとっておいてください。

ときどき

● **貯湯槽内**

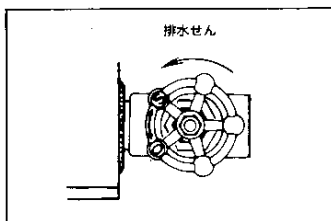
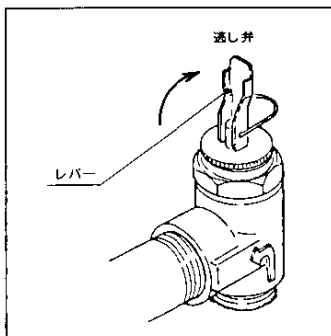
- 貯湯槽はグラスライニング処理（特殊ホーロー）を施しておりますが、水道配管中のゴミや錆が貯湯槽に沈澱する場合があります。沈澱物を洗い落とすために月に一回程度貯湯槽の水抜きを行なってください。熱の吸収をよくし、経済的にご使用いただけます。次の順序で行なってください。

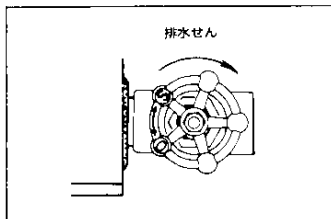
①運転スイッチを「切」にしてください。

②ガス元せんを閉めてください。

③給水元せんを閉めてください。

④逃し弁レバーを起こしてください。

⑤排水せんを開方向（「O」の方向）に回わして貯湯槽の水を排水してください。

⑥給湯せんを開くと配管中の水も一部排水できます。

⑦水を抜いた後は、排水せんを閉方向（「S」の方向）に回わしてください。

⑧ご使用のときは給水元せんを開け、逃し弁から水がでることを確認し、給湯せんから水が勢いよく流れることを確認した後、逃し弁レバーを戻し「点火前の準備と確認」の項（10ページ）に移ってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

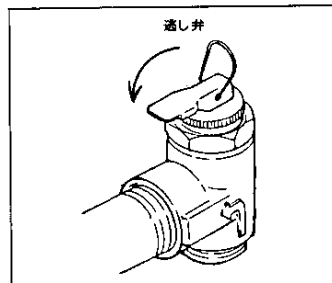
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのまままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象＼原因	運転スイッチ「入」 運転ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない	リセットランプが点灯する	給湯せんを開いても湯(又は水)がでてこない	プロコンが設定した通りに働かない	異常臭がする	処置方法	参照ページ
電源がきていない	○				○		• 停電でないかを調べる • 電源コードが抜けている	—
電源ヒューズが切れている	○						点検・修理を依頼する	—
湯温設定が低い		○					湯温設定を「高」にする	11
防食電極がショートしている		○					点検・修理を依頼する	—
ガス元せんの開け忘れおよび開きが不十分			○				ガス元せんを開ける（全開にする）	—
ガス圧が異常に低下している			○				ガス圧が正常になってから使用する	—
排気トップカバーの排気口に障害物がおかれている		○				○	排気トップ付近の障害物を取り除く	5
断水している				○			運転スイッチを「切」にし、通水が始まるまで待つ	12
給水元せんが閉じている				○			給水元せんを開く	—
過熱防止装置が働いている	○						点検・修理を依頼する	—
途中で停電した					○		プロコンの時刻を設定しなおす	13 14
プロコンセット子の位置が違う					○		セット子をセットしなおす	13 14
ガス漏れ						○	点検・修理を依頼する	—

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

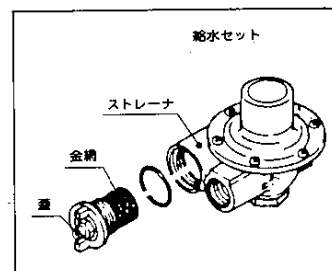
ときどき

●逃し弁

• 燃焼していない状態で、ときどき逃し弁先端（排水口の上）からの水漏れがないか確認してください。(燃焼中の水漏れは異常ではありません)

• 万一水漏れがある場合は、逃し弁レバーの開閉を数回繰り返してください。(逃し弁内に付着した異物を取り除きます)なおかつ水漏れする場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

●給水セット中のストレーナ

• ストレーナは水道中に含まれているゴミや砂などの異物を取り除くものです。ストレーナに異物がたくさんたまると給湯せんをいっぱいに開けてもお湯の出は悪くなります。この場合は給水元せんを閉め、ストレーナの蓋を開けて金網のまわりについている異物を掃除してください。

ーサービスのお申し込み

のお申し込み

●21ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。

●確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

①品　名……湯沸器(貯湯式)

②品　番……右側下部に貼付してあります。

（例）

(4)33-714(U)
大阪ガス株式会社 00

(4)33-721(U)
大阪ガス株式会社 01

③現　象……（できるだけ詳しく）

④道　順……（できるだけ詳しく）

る場合

●ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

●この器具には保証書がついています。
この湯沸器(貯湯式)は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

・運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを必ず閉めてください。
（電源により貯湯槽を防食していますので、電源コードのプラグはコンセントより外さないでください。但し、プログラムコントローラーのタイマーは運転します。）

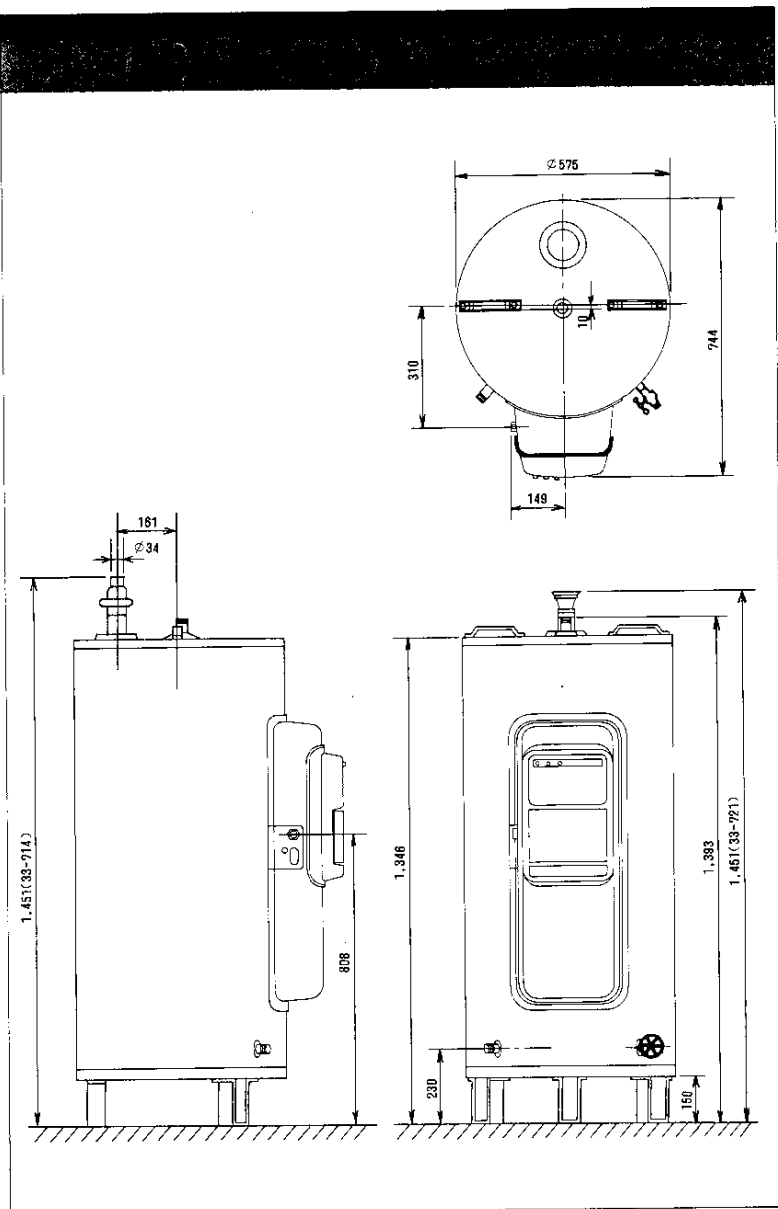
・給水元せんを閉じ、貯湯槽の水は抜かないでおきます。

・再び使用されるときは運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉じたまま給水元せんを開け、次に給湯せんを開けて貯湯槽の水を入れかえてください。
（プロコンの時刻が現在刻に合っているか確認してください。

●凍結防止ヒーター
器具のポンプ配管については温度が下がった場合、自動的に凍結防止ヒーターで凍結を防止します。この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなります。

●給湯せんから水を流す方法（一般的な防止方法）
運転スイッチを「切」にし給湯せんより少量の水(１分間に牛乳びん一本(200cc.)以上、ただし寒い日は多い目に)を流し放しにしておいてください。又、念のため流量が不安定な事がありますので30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴そうに流し込みますと、一晩で浴そう半分から一ぱい程度になります。翌日雑用水としてご利用ください。翌日再使用する時は逃し弁レバーを上下させ水が流れ出すのを確認して使用してください。

●器具の中の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合、異常寒気の場合）
次の手順で器具内の水を抜いてください。
①運転スイッチを「切」にしてください。
②器具の電源コードのプラグをコンセントより外してください。
③ガス元せんを閉じてください。
④給水元せんを閉じてください。
⑤すべての給湯せんを開いてください。
⑥逃し弁レバーを起こしてください。
⑦排水せんを開方向(「Ｏ」の方向)に回わし貯湯槽内の水を排出してください。
再度使用される時は、次の順序で各部分の作動確認の上お使いください。
①排水せんを閗方向(「Ｓ」の方向)に回わしてください。
②給水せんを開けて給水します。
③逃し弁レバーを起し水が流れ出すのを確認して、逃し弁レバーをおろしてください。
④給湯せんより水が連続して流れる様になってから約３分間水を流した後給湯せんを閉じてください。(これで貯湯槽は満水になります。)
⑤器具の電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。
⑥所定の点火操作により点火を行なってください。

〈ご注意〉凍結した時は、
①器具や配管が破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が解けた後各部分の作動をご確認の上、ご使用ください。

1 沸き上げる湯量をお湯の使用量にあわせて50ℓ(台所、シャワーなど)と160ℓ(お風呂の落し込みなど)の2段階に能力切替えができます。

2 通常の沸き上げは上部50ℓにできますので、放熱面積が減少します。

3 ダイレクト点火方式で、パイロット(種火)ロスをなくしました。

4 強制排気方式ですので給気口面積は10㎠以上、また排気はφ34㎜の排気筒を接続するだけで工事も簡単です。(33-714型の場合)

5 操作部が本体にありますので、リモコン工事は不用です。またタイマー内臓のため、点火・消火・能力切替が自動でできます。

6 貯湯量は160ℓとたっぷりあり、ピストンフロー式のため同時使用や、大量給湯にも安定した湯量が得られます。また上部の50ℓから沸き上げる上部浸管熱交換方式を採用しましたので、短時間に必要なお湯を素早く沸かします。

7 運転スイッチを「入」にすれば自動運転します。湯温調節は湯温スイッチを「高」・「低」の切替で80℃、60℃になります。能力スイッチを、「大」・「小」の切替で上部50ℓのみと全体160ℓ沸き上げになります。

8 貯湯槽はグラスライニング加工を施し、更に流電防食(防食電極)を使用しているため、耐久性に優れています。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06（202）2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06（652）0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06（301）1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市松上町4番1号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町15番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区[illegible]町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町[illegible]丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29の1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 2171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

84.09.(00)

項目		33-714	33-721
器種名		ガス湯沸器（貯湯式）	
品名		33−714（屋内設置専用型）	33−721（屋外設置専用型）
点火方式		連続放電点火	
外形寸法		高さ1,451mm×巾575mm×奥行744mm	
重量（器具）		74kg（満水時 234kg）	
制御安全装置		燃焼補助ファン・風圧スイッチ・フレームロッドヒューズ・ハイリミット・空焚防止・凍結防止ヒーター漏電遮断器（33-721型用）	
使用ガス 使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量	
都市ガス用	6C（kcal/h）	8,000	
	13A（kcal/h）	8,000	
	6A（kcal/h）	8,000	
LPガス用（kg/h）		0.625	
貯湯量（ℓ）		160	
有効出湯量（ℓ）		能力大沸き上げ後、能力小に切替えた時 150（10ℓ/min）	
接続	ガス	15A（½B）メネジ	
	給水	20A（¾B）オネジ	
	給湯	20A（¾B）オネジ	
	排水	20A（¾B）メネジ	
電気関係	電源	AC 100V 60Hz	
	消費電力	能力大 85W　能力小 50W　凍結防止ヒーター 40W	
沸き上り時間	15〜60℃	約1時間15分	
	15〜80℃	約1時間45分	
サーミスタ最高温度℃		80	
付属品		逃し弁	

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。